

【教育目標 夢中になる とともに創る】



きらきら



新潟市立沼垂幼稚園
園だより
令和7年7月24日発行

沼垂幼稚園 111 年目 大切にする3つの「一」★★★「一人一人」「一緒に」「かけがえのない一年」★★★

これからの幼児教育と沼垂幼稚園の教育

園長 関根 秀也

先月、全国の国公立幼稚園こども園の園長が一堂に集まる全国園長総会・研究協議会（大分県大会）が行われ、私もその一人として参加してきました。全国の園長先生方の幼児教育に対する熱意と子どもたちに注ぐ愛情の深さに触れ、大変よい刺激を受けてきました。

この会の中で、次期の幼児教育の指針となる幼児教育要領の改訂を見据えて、昨年から文部科学省が開催してきた「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会」の最終報告について話題になることがありました。その主な内容をまとめると以下ようになります。

- 幼児が自ら考え気付きを得られるように、環境の構成を工夫して、遊びや生活を展開することにより、幼児の発達を促す教育が重要である。
- 幼稚園、保育所、こども園は、それぞれの特性を生かしながら、連携を強化して、地域における幼児教育の拠点としての役割を果たすことが重要である。
- 幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図るため、育みたい資質能力を踏まえた教育内容や指導方法の連携が求められる。
- すべての幼児に格差なく質の高い幼児教育を保障し、生涯にわたる生活や学習の基盤となる生きる力の基礎を育み、幼児のウェルビーイングの向上につなげるようにすることが大切である。

これまでも、沼垂幼稚園では、個々の子どもたちがやりたい遊びができるように環境を工夫し、その遊びを通して知識や技能の基礎となる経験を積めるようにしてきました。そして、その過程で「もっと楽しくしたいな」と遊びを工夫したり、楽しかったことを友達や先生、おうちの人に伝えたりして、思考力・判断力・表現力等の基礎を育んできました。さらに、友達と一緒に遊ぶことでより「もっと〇〇したい」「友達と仲良くしたい」と学びに向かう力や人間性等が培われるように、人や物事と関わることの心地よさを大切にして

きました。また、近隣の幼児教育施設や沼垂小学校との情報交換の機会を大切にし、保育や授業での子どもの学びの関連について共有を図ってきました。

この最終報告は、沼垂幼稚園が取り組んでいる教育活動を肯定的に評価してくれるもの、これまでの教育活動を振り返ったり、さらによりよい教育活動を目指したりする機会を与えてくれたものと捉えています。この機会を生かして、沼垂幼稚園の教育活動のさらなる質の向上と幼児教育の重要性を広く伝えられるようにしていきます。そして、みんなでやりたいことに夢中になったり、ともに喜んだりして、子ども一人一人のよさを伸ばしていきたいと思います。

今月の「きらきらな笑顔」



素敵な七夕かざりができたよ!

願いが届きますように...



色水ジュース実験中!
こぼれても面白いよ

最高級つるつる泥団子が作れそうだよ!



夏休みが始まります

来週から長い夏休みが始まります。子どもとゆっくり過ごすなかで、子どものよさや新たな一面などをたくさん発見してください。夏休み明けに教えていただけることを楽しみにしています。また、何か困ったことがあれば、身近で相談しやすい方や幼稚園に相談してください。みんなが支えてくれるので安心してください。8/28(木) 元気に登園してくるのを待っています。